

北陸民放クラブだより

富山

待ち遠しい雪割草！

「歩こう会」は記録的な大雪の影響で活動を阻まれ、2月の岐阜・古川町食べ歩き」は取り止めとなりました。3月10日には園芸部会と合同で雪国の妖精「雪割草」を観賞し、高山植物も愛でる8千歩ウォーキングを計画しています。

雪割草は全国では新潟が県の花、中でも最も親しまれているオオミズミノウは変異が豊かで色とりどり、神秘的な魅力に取り付かれるようです。

富山でもその人気は高く、昨年の「富山県中央植物園」では、園芸愛好家が丹精込めた「雪割草展」を披露。珍しい千重咲や二段咲などもあり、即売コーナーでは、ひと株3百円から10万円と驚きの値札が付いていました。



富山県中央植物園
昨春の雪割草

またこの時期、広い園内には福寿草やマンサク、オウレンなど山よりも1ヵ月以上早く咲く花もあり、ロウバイや寒桜も含め開花が待ち望まれます。

石川

写真同好会他流試合？

八田 静輔 (MRO)

民放クラブ・石川写真同好会は平成25年7月に誕生しました。

現在会員は16名。毎年3月の民放クラブ・石川各同好会の合同展示会に出品してきました。私たちの会は毎月1回、金沢市立泉野図書館で例会を開催しています。

昨年、この泉野図書館から、図書館を利用しての団体による合同展示会をという誘いを受けました。

私たちの会としては初めて他団体との合同展示会に出品することになりました。これぞ他流試合？期間は昨年9月27日から約1ヵ月間。期間中、会員相互の写真の制作意図などを解説し合いました。また他の写真グループとの展示会は私たちにとって刺激になります。

した。

今年7月18日で5周年を迎えます。更に腕に磨きをかけて行きたいものと思っています。



福井

大きくなりました。

伊藤 貴夫 (FBC)

永平寺町松岡吉野地区での植樹標高450メートル、面積は7000平米。登り口から15分位で到着です。バットの原料となるアオダモを中心にブナ、ナラ、クリなどを植樹してきました。

ここ数年は100本位の植樹です。年2回の下草刈り、枝打ちに植樹当日用の穴掘りと通算20日間位の参加です。休み休み1時間



今年の北陸、大雪で大変でした

から2時間の作業ですが、作業のなかでは穴掘りが一番きついです。昨年は10月29日に17名の参加で植樹を実施しました。

この場所で植樹が始まってから15年、私達が参加してから7年になります。

最初に植えた苗木は随分大きくなりました。クリは何年か前から実をつけだしています。イガだけが残っていますからお山の動物たちのお役にはたっているみたいです。主役のアオダモが成木になるまでには50年近くかかります。

アオダモの成木をみることは出来ませんが、昨年植樹した桜の花見までは、会員の皆さんと頑張りたいものです。